

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名： 集中治療中のオピオイド誘発性便秘に対するナルデメジントシル酸塩の有効性を検討する

<目的及び概要>オピオイド誘発性便秘に対する治療薬ナルデメジントシル酸は緩和領域では効果が確立されているが、集中治療領域での効果は明らかではない。

集中治療領域においてはオピオイドを用いた鎮痛管理が用いられることが多い。一方で、集中治療下においてはオピオイドを含めた種々の要因による消化管機能低下のため経腸栄養開始時期が遅れたり、十分な栄養量を投与できるようになるまでに時間がかかったりすることにしばしば遭遇する。

集中治療領域でのオピオイド誘発性便秘に用いることで、経腸栄養開始時期や十分量を投与できるようになるまでの期間にどのような効果が得られるのか前向きに検討する。

<研究方法>

期間ごとにICUに入室してオピオイドを使用する患者について、ナルデメジントシル酸を投与する群、投与しない群にわけて、便秘の状況・食事開始時期・十分な栄養量に到達するまでに要した期間などの観察研究を行う。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

救急科： 井口 知子 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課
電話：0798-34-5151（代表）

令和3年8月2日倫理委員会承認（迅速審査）（受付番号 R3-18 ）